

# 「現職教員特別参加制度」

JICA沖縄・沖縄県教育委員会

## 1 現職教員特別参加制度とは

- 現職教員の身分・給与等を保持したまま参加することができます。
- 本制度の派遣は通算2年(派遣前訓練を含む)で、年度の区切りをまたがない4月訓練開始・2年後の3月下旬に帰国となり、現職教員が参加しやすい特徴があります。

直近3か年の派遣国

タンザニア、パラグアイ、ガーナ、サモア、ソロモン  
グアテマラ、スリランカ、コスタリカ、ボリビア、ラオス

## 2 応募資格

- 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校で、本務の教諭・養護教諭・栄養教諭として勤務する者
- 参加終了後も引き続き教員として勤務する熱意を有する者
- 勤続3年以上の実務経験を有し、年齢が39歳まで(募集期の最終日現在)の日本国籍を持つ者

※派遣要請職種に応じた免許・資格・技能等を有し勤務意志があれば、所属校種は問いません。

※具体的な応募資格や制度の内容は、JICA沖縄のホームページをご確認ください。

※応募を予定している教員は、所属校の管理職にゆとりを持ってご相談ください。

※小学校教育は各国から多数の要請があります。  
※他に理科教育、数学教育、学校保健、青少年活動、体育系、日本語教育、文化・社会系、芸術系、農水系、工業系、商業系、観光、家政系、栄養士、環境教育、幼児教育、障害児・者支援、防災・災害対策、PCインストラクターなど、多種の派遣要請があります。

### ■現職教員特別参加制度をとおして

- ・国際貢献、自己研鑽(教員自身の資質向上=人材育成)
- ・本県教育への還元(国際理解教育・開発教育・多文化共生教育・多様な幼児児童生徒の個性への対応)

## 3 沖縄県教員の協力隊派遣事業

- ボリビア: 小学校教育(小学校教諭免許状所持者)
- ラオス: 数学教育(中学校又は高等学校教諭<数学>免許状所持者)

※JICA沖縄と合意書を締結した「本県限定の派遣事業」です。

※指定された教員免許を有し勤務意志があれば、所属校種は問いません。



ボリビア



ラオス

## 4 募集から派遣までのスケジュール

1年目	3月	4月初旬	4月下旬	5月中旬	6～7月	8月	翌1～3月
応募等	募集通知	募集締切	県教委面接	文科省選考	JICA 選考	結果通知	各種手続

2～3年目	4～6月	7月～3月(約1年9か月)			3月下旬	4月1日
派遣等	派遣前訓練(国内)	派遣期間(派遣国での活動期間)			帰国	職場復帰

## 5 派遣経験者から

県立沖縄盲学校

小学部教諭

伊波 興穂 先生

派遣事業: 青年海外協力隊

派遣年度: 平成 27 及び 28 年度

派遣国等: ポリビア(中南米)

派遣職種: 小学校教育



県立西崎特別支援学校

高等部教諭(数学)

上原 卓真 先生

派遣事業: 青年海外協力隊

派遣年度: 平成 27 及び 28 年度

派遣国等: ラオス(アジア)

派遣職種: 数学教育



私が派遣された南米ポリビアにあるもう一つの「オキナワ」。そこにあるオキナワ第一日ボ学校(幼小中)に配属され最高学年である中学校2年生の担任となった私は、日系三世の幼児児童生徒を中心に日本語や体育の授業、移住教育やキャリア教育などを行いました。

生徒の多くはポリビア人と日系人の両親を持つ「ダブル」で、2つの言葉と2つの文化を受け継いでいます。

配属先でもスペイン語と日本語で授業が行われ、両国の文化を大切にしています。特に沖縄文化の継承発展には力を入れており、生徒たちのルーツである沖縄の文化を受け継いでいくための授業も行われています。私も活動中、沖縄県で開催された世界のウチナーンチュ大会へ生徒たちを引率して参加し、中学校体験入学や他国の青年たちとの交流会などを企画・実施しました。

2年弱という期間の中で自分に何ができるのか、何を残せるのかと悩みもりましたが、現地の先生方と何度も話し合い生徒たちと向き合った日々は、私にとって忘れられない貴重な時間です。

ラオスに1年9か月派遣されていました上原卓真です。

国立教員養成大学に配属され、主な仕事内容は、職員や学生への「指導案の紹介」や「教材・教具の開発」でした。

「指導案の紹介」では、10種類の指導案を作成し、同僚に紹介しました。その指導案を元に、自分が教師役として模擬授業を行い、黒板の使い方や発問の仕方などのレクチャーを行いました。

また「教材・教具の開発」では、模造紙とビニール紐等でグラフ黒板を作製したりしました。

その他にも、配属先大学の学生に日本語の授業を行っていました。

活動を振り返って、赴任先で日本語が話せない時期もありましたが、心優しいラオス人や共に活動した青年海外協力隊のメンバーに助けられ、任期を全うすることができ、良い体験となったと実感しています。

現地でしか感じ取ることのできない価値観や人間観、仕事観を皆さんにも経験してほしいと思います。

## 6 お問い合わせ先

※ お問い合わせは、所属校の管理職及び所属の市町村教育委員会経由でお願いします。

【ボランティア事業一般について】

【現職教員特別参加制度について】



独立行政法人 国際協力機構

沖縄国際センター

TEL: 098-876-6000



沖縄県教育委員会

沖縄県教育庁 学校人事課

TEL: 098-866-2730